

荒井奈々さん(博士前期課程 1 年)が 35th International Conference on Solution Chemistry で 日本分析化学会関東支部新潟地区部会若手賞を受賞しました。

荒井奈々さん(自然科学研究科・博士前期課程 1 年)が、2018 年 8 月 26 から 30 日に開催された 35th International Conference on Solution Chemistry において優秀な成果を発表した功績により、日本分析化学会関東支部新潟地区部会若手賞を受賞しました。

本賞は、平成 30 年度の分析化学に関連する学会や研究会等において、独創性あるいは社会地域貢献の点で特に優れた研究や分析技術に関する自身の成果を積極的に発表し、分析化学関連分野における研究者や技術者との情報交換・交流を積極的に図ろうとする新潟地区の若手の研究者・技術者・学生を対象とし、そのような活動を支援することを目的として表彰される賞です。本研究は、次世代電池の一つであるリチウム-硫黄電池電解液としての応用が期待されるリチウム-グライム溶媒和イオン液体に関して、粘性やイオン伝導性などの輸送特性がグライム鎖長に依存する要因である静的および動的キレート効果を、熱力学および分光学的に明らかにしました。これは、溶媒和イオン液体の特徴的な Li⁺伝導機構を解明する手掛かりとなりました。

発表者：

荒井奈々（新潟大学院自然科学研究科数理物質科学専攻化学コース修士 1 年）

（指導教員：梅林泰宏教授）

名称：

日本分析化学会関東支部新潟地区部会若手賞

演題名：

Thermodynamics, structure and dynamics of lithium-glymes solvate ionic liquids

